

独自製品・ブランドで新市場を創出し注目を集めるレッグニットメーカー

しょうわメリヤス
昌和莫大小株式会社 奈良県広陵町

■新市場創出のため独自製品・ブランドを開発

1935年創業の老舗レッグニット製品メーカー『昌和莫大小株式会社』。高度な技術力を活かして有名ブランドのファッション性の高い商品のOEM生産を主に手掛けてきたが、業界環境変化に伴う利益率低下の打開策として、数年前から新市場の創出に着手。機能と品質を両立させた独自製品・ブランドの展開で注目を集めている。

新市場創出のためまず取り組んだのが、2013年に開発着手した『はだし靴下』。人間が本来持つ足裏センサー機能や筋力を取り戻す「裸足ランニング」や「裸足教育」などの用途に合わせ、靴を履かずに靴下のみでランニングやウォーキングの可能な高耐久靴下の開発に、奈良県産業振興総合センターや畿央大学と連携して当たった。足底部にピアノ線の約8倍の強度を持つ特殊な繊維を使用し、独自の編立技術を工夫することにより、2016年10月に商品化に成功した。

次いで取り組んだのが独自ブランドの立ち上げ。県に専門家の紹介を依頼し、(株)SASI DESIGN(兵庫県)と組んで2016年に着手した。SASI DESIGNはコンサルティング、企業アイデンティティの抽出、商品コンセプトの決定、パッケージデザインなどを担当。「かっこよくて、機能的。品質にこだわりを。」をブランド全体のキーコンセプトに、デザインと機能性に優れた商品をラインナップし、全ての商品デザインはファッションにこだわりを持つ井上克昭社長自身が手掛けた。

2017年2月に米ニューヨークで行われた大規模ギフトショーでこの自社ブランド『OLENO』を発表。はだし靴下はラインナップの1番に位置づけ、他にスポーツ、トレッキング、キャンプ用靴下など様々な用途に展開。靴下以外には、湿らせてワインボトルにかぶせ気化熱を利用して

保冷するボトルクーラーも開発し、テレビ東京『ワールドビジネスサテライト』でも紹介された。

OLENOは海外からも注目を集めており、協力業者を通じて輸出もスタート。また日頃のトレーニングで足の機能を強化するためにはだし靴下を愛用する国内プロスポーツ選手も複数いるという。

■今後も試行錯誤を重ね更なる展開に挑む

「たった数年独自ブランドに取り組むだけでこんなにいろんな人とつながりができて評価され、仕事にも広がりが出て面白くなった」と語る井上社長。はだし靴下は近畿経済産業局の『関西ものづくり新撰2018』にも県内企業として唯一選定され、新市場創出への取組みを評価されている。「試行錯誤しながら失敗の連続だが、あきらめずに続けるのが重要だと学んだ」と、今後も新製品開発とOLENOの更なる展開に挑む。(吉村謙一)



(左上から時計回りに) はだし靴下は足裏に採用した高強度繊維とその編立を可能にした独自技術がポイント/ビーチアルティメット(フライングディスク競技)の日本代表選手も愛用/展示会への出展ブースでは『OLENO』の統一的な世界観を表現/ボトルクーラーはお洒落でポップなデザインも好評



井上克昭 社長

昌和莫大小株式会社

〒635-0813
奈良県北葛城郡広陵町大字百済 1369-1
TEL: 0745-55-0415
FAX: 0745-55-0457
URL: <http://www.showameriyasu.co.jp/>
<http://olenojp/>